

医療用麻薬(ヒドロモルフォン)の調査研究へのご協力をお願い

総合大雄会病院・大雄会第一病院では、「ヒドロモルフォン導入量の差異による副作用発現頻度の検討」について臨床研究を実施しています。なお、この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で審査され承認された研究です。

【研究の目的】

この研究では、ヒドロモルフォンを成分とするナルサス®錠の初回導入量の違い（2mg/日と4mg/日）により、悪心・嘔吐などの副作用発現頻度の差について明らかにすることを目的としています。これにより、オピオイド導入時の副作用の発現を緩和できる可能性があります。

【研究の対象】

総合大雄会病院・大雄会第一病院で2017年4月1日から2022年3月31日の期間にナルサス®錠を新たに投与され、定期的に服用された入院患者さん

【研究の方法】

この研究では対象となる患者さんの診療情報を集めてデータベースに入力し、後方視的に調査します。

【研究期間】

2022年3月31日～2026年3月31日

【研究に用いる患者さん情報】

通常の診療に伴って得られた診療情報の一部を研究に使用させていただきます。使用する主な項目は、以下の通りです。

カルテ診療情報：年齢、性別、全身状態の評価（PS）、リンパ球数、便秘、併用薬（制吐剤、ステロイド）、腎機能（血清クレアチニン）、癌腫、転移の有無 など

【外部への情報提供】

患者さんの診療情報から、お名前、住所など個人を特定できる情報を削除して研究で収集する情報を専用のデータベースに入力します。結果を学会や論文などに発表することがありますが、患者さんを特定できる個人情報を公開することはありません。また、使用した診療情報は厳重に管理され、研究終了後この情報は廃棄されます。

【その他】

過去の診療情報を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。
また、診療情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等ありません。

この研究は、愛知医科大学病院薬剤部の研究費で行われ、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものでなく、利益相反はありません。

【研究組織】

○実施機関

愛知医科大学病院

研究代表者： 客員教授 築山 郁人

○代表機関

愛知医科大学病院 客員教授 築山 郁人

共同研究機関名	研究責任者
トヨタ記念病院	高岡 龍蔵
刈谷豊田総合病院	鳥居 昌太
KKR 東海病院	川合 甲祐
名古屋大学医学部附属病院	宮崎 雅之
総合大雄会病院	立花 京香
大雄会第一病院	長戸 大空

【除外の申し出・お問い合わせ先】

診療情報が本研究に用いられることについて、ご同意いただけない場合には、研究対象から除外させていただきますので、2025年12月31日までに下記連絡先までお申し出ください。その場合でもお申し出により研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

また、本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。

総合大雄会病院 薬剤部 担当者：薬剤師 立花京香

〒492-8094 愛知県一宮市桜1丁目9番9号

電話 0586-72-1211 (内線：5146)